

令和3(2021)年度事業報告

I 観光及び物産振興事業の企画・実施及び支援事業

1 受入体制整備事業

(1) 表彰事業

本県の観光振興・物産振興に功績があった者・施設等を表彰した。

- ・ 観光及び物産振興事業功労者 6名
- ・ 観光及び物産振興事業功労施設等 4施設

また、本県観光事業の振興に特に貢献された者を(公社)日本観光振興協会に推薦し、表彰された。

【(公社)日本観光振興協会 会長表彰】

新井 俊一 氏(元 公益社団法人栃木県観光物産協会会長、元 一般社団法人日光市観光協会会長)

【(公社)日本観光振興協会 関東支部長表彰】

早川 慶治郎 氏(公益社団法人栃木県観光物産協会理事、一般社団法人足利市観光協会会長)

(2) 催物等助成事業

国や県をはじめ、県内市町や各地区観光協会等主催の各種イベントを後援するなど、支援を行った。

- ・ 後援件数8件

(3) 県域版DMO形成促進事業(県補助事業)

マネジメント等の専任職員と外部専門家によるアドバイザー体制を確立し、観光に係る多様な関係者による「とちぎ観光地づくり委員会」を5回開催した。

第1回 令和3(2021)年4月21日 県庁本館9階 会議室2

第2回 令和3(2021)年5月20日 栃木県職員会館 ニューみくら 大会議室207

第3回 令和3(2021)年7月8日 栃木県職員会館 ニューみくら 大会議室207

第4回 令和3(2021)年12月15日 県庁研修館4階 講堂

第5回 令和4(2022)年2月28日 栃木県職員会館 ニューみくら 会議室302

(4) 地域連携観光地づくり支援事業(県補助事業)

令和2(2020)年度、那須地域で実施した同事業を継続し、県南地域での観光地づくりの組織化及び事業実施を支援した。

実施内容 県南地域におけるデジタルスタンプラリー

- ・ 開催期間 令和3(2021)年12月18日(土)～令和4(2022)年2月18日(金)
- ・ 参画施設 28施設
- ・ 参加人数 1068名

(5) 栃木県観光客受入環境現況調査事業(県委託事業)【新規】

県内の観光施設・飲食店・小売店・宿泊施設・交通事業者・観光協会など620箇所からの回答により調査を行うとともに、今後の国内外からの観光客の受入環境整備のための施策に繋げる分析を行った。

(6) 観光業担い手育成セミナー開催事業(県委託事業)

観光業の次世代経営者や幹部候補者を主な対象として、内閣府・国土交通省・農林水産省認定「観光カリスマ」の山田桂一郎氏を講師に迎え、栃木県の観光振興を担う人材育成

に向けたセミナーを5回開催した。

ア 第1回

開催日時 令和3(2021)年9月22日

開催場所 オンライン

演 題 「選ばれ続ける地域になるためには」

参加者数 28名

イ 第2回

開催日時 令和3(2021)年12月15日

開催場所 栃木県庁 研修館講堂

演 題 「選ばれ続ける地域になるためには」

参加者数 20名

ウ 第3回

開催日時 令和4(2022)年1月12日

開催場所 オンライン

演 題 「選ばれ続ける地域になるためには」

参加者数 29名

エ 第4回

開催日時 令和4(2022)年2月3日

開催場所 オンライン

演 題 「選ばれ続ける地域になるためには」

参加者数 26名

オ 第5回

開催日時 令和4(2022)年3月10日

開催場所 栃木県自治会館3階 301会議室

演 題 「選ばれ続ける地域になるためには」

参加者数 18名

(7) Smart Workation Tochigi事業

ア スマートワーケーション推進事業(県委託事業)

Smart(手軽、効率的、賢く)にビジネスも休暇も楽しめるワーケーションの適地として宿泊増を含め県内の観光振興を図るため、コーディネーター業務(ワーケーションに関する情報の一元化、リーフレット作成)、PR業務(専用HPや動画、WEB広告による情報発信)、利用促進実証業務(主に東京圏の企業を対象に割引クーポンの発行及びアンケートの実施)を行った。

イ スマートワーケーション利用環境整備事業(県補助事業)

県内に所在する施設(店舗)においてWi-Fi等の整備や仕事専用スペースの確保などワーケーションの利用促進に向けたワーキングスペースの整備を行った場合にその対象経費の一部を補助した。

- ・ 事業時期 令和3(2021)年6月11日～令和4(2022)年2月28日
- ・ 申請者数 14者

ウ スマートワーケーション受入環境整備助成事業費補助金受付等業務(県委託事業)

ワーケーション受入れのために宿泊事業者が行う環境整備に要する経費の一部を補助

することにより、魅力ある観光地づくりを推進することを目的としたスマートワーケーション受入環境整備助成事業費補助金に係る各種申込書の受付・審査等を行った。

- ・ 事業時期 令和3(2021)年10月25日～令和4(2022)年2月21日
- ・ 申請者数 4者

(8) おもてなしいちご隊管理運営事業(県委託事業)

県民一人ひとりが本県を訪れた方々への感謝の気持ちや思いやりを「おもてなし」として形に表すため、県内の企業、団体、個人等を「おもてなしいちご隊」として募集し登録を行い、「おもてなし」を実践することで、本県への更なる誘客促進を図った。

登録者には、登録証及び「おもてなしいちご隊缶バッジ」等を交付した。

- ・ 募集期間 平成29(2017)年8月1日～令和5(2023)年3月31日

※令和4(2022)年3月31日現在

登録件数 延べ 1,405件

登録人数 延べ 46,963人

2 とちぎ特産品推奨事業

(1) 第21回とちぎ特産品推奨審査委員会の開催

県産品(製造又は加工の最終工程が県内で行われた商品)の中から「とちぎ特産品」を推奨(有効期間3年間)し、認定した「とちぎ特産品」について、当協会のホームページで公開するとともに、「とちぎ特産品ガイド」を発行し、その普及、宣伝に努めた。

- ・ とちぎ特産品審査委員会開催日 令和4年(2022)年2月10日
- ・ 申請業者数及び申請品目数 43業者 97品目
- ・ 推奨数 42業者 95品目(合計163品目)

3 栃木県のブランド力向上事業

(1) 見本市〔FOODEX JAPAN(全国食品博)〕出展支援(県委託事業)

栃木県内の県産品事業者に対し、首都圏等で開催される見本市への出展を支援することにより、認知度の向上を図り、栃木県のブランド力の向上に努めた。

ア FOODEX JAPAN2022 全国食品博

- ・ 開催時期 令和4(2022)年3月8日～11日
- ・ 開催場所 千葉市幕張メッセ
- ・ 主催 一般社団法人日本能率協会 等

II 観光及び物産情報の収集・提供事業

1 観光・物産情報発信事業

(1) インターネット事業(県補助事業)

多様な観光・物産需要に対応するため、既存の観光・物産部門のみならず、商工・農林業団体や市町等との連携を図りながら、ホームページ「とちぎ旅ネット」を運営した。

ホームページは、最新の情報を提供し、シーズンの注目情報や画像を多く取り入れながら、多様化する観光客のニーズに応えるべく内容の充実を図った。

- ・ 令和3(2021)年度アクセス数 5,644,701PV(対前年度比79%)
- ・ メールでの問い合わせ件数 221件

(内訳 パンフレット請求 131件、質問等 90件)

ア 観光資源・名産品の紹介

観光写真ダウンロードコーナーにおいて、本県の観光資源や名産品の写真の掲示・提供を行った。

- ・ 写真使用申請件数（WEB申請）延べ1,078件（対前年度比74%）

イ 情報の発信

ホームページにおいて、多様化する観光客のニーズに応えるため、各市町、各地区観光協会等から寄せられた情報を基に、シーズン毎の各観光地における注目情報や画像を多く取り入れる等内容の充実を図り、お祭りやイベント、花、紅葉の情報など最新の観光に関わる情報を発信した。

ウ 通訳案内士の紹介

栃木県内の通訳案内士及び栃木県地域限定通訳案内士の紹介をホームページにおいて行った。

(2) 観光情報発信事業（県補助事業）

ア 観光情報収集活動

県・市町・各地区観光協会・観光関係業者等から、メール、FAX等により適宜観光情報の収集を行った。

イ パブリシティ活動

毎月「観光情報誌」を作成し、東京の記者クラブ定例連絡会（毎月第3火曜日開催 ※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により記者発表は行わず資料提供のみ）に情報提供を行うとともに、記者クラブ以外のマスコミや旅行エージェント等にも情報提供した。

また、取材の依頼に対しては、最新の観光情報や要望に応じた情報を提供した。

ウ 観光・物産に関する問い合わせへの対応

電話やメール等による多種多様な観光・物産に関する問い合わせに、迅速かつ的確に対応した。

(3) ホームページリニューアル事業（県補助事業）【新規】

ホームページ「とちぎ旅ネット」の国内版及び多言語版のリニューアル及びECサイト「とちぎもの」の新設を行い、さらなる情報発信及び県産品の販売の強化を図った。

ア 各サイトのオープン日

- (ア) 国内版 令和3（2021）年12月21日
- (イ) 多言語版 令和4（2022）年2月1日
- (ウ) ECサイト 令和4（2022）年3月25日

イ 主な改良・変更点

(ア) 国内版・多言語版共通

- a 閲覧する端末ごとの画面サイズに応じて最適な状態で表示されるレスポンシブウェブデザインの採用
- b 日付指定更新等の導入
- c 閲覧者が知りたい情報へたどり着きやすくするためにチャットボットを導入（多言語版は英語のみ）
- d 動画閲覧ページの新設
- e 緊急情報等の発信機能の強化
- f OTAサービスやSNSサービスとの連携強化

- (イ) 国内版
 - a 市町ごとのアカウント配布による情報更新の効率化
 - b AIを活用したモデルコース作成機能の導入
 - c オリジナルコース作成機能の導入
 - d 体験予約サイトとの連携
 - e グルメページの新設
 - f おみやげページの新設（ECサイト「とちぎもの」と連携）
- (ウ) 多言語版
 - a 外国人に訴求力のあるサイト構造の採用
 - b 各国での閲覧に支障がない仕組みの整備
 - c 複数言語の情報管理を効率的にするシステムの構築
- ウ ECサイトの新設

県内の特産品を国内消費者向けに販売するECサイト「とちぎもの」を新設した。

- (4) 日光国立公園アクティビティ情報サイト開設及び保守管理・運営事業（県委託事業）
とちぎ旅ネット内に日光国立公園の雄大な大自然を満喫するアクティビティや、自然ガイドによる散策ツアーの楽しみ方を紹介するポータルサイトを新設した。
オープン日 令和3（2021）年12月21日

2 「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン事業

- (1) 「本物の出会い 栃木パスポート」事業（「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会委託事業）
本県を訪れる観光客の方々に、より長く県内に滞在し周遊していただき、更なる誘客促進を図るため、「本物の出会い 栃木パスポート」アプリを提供した。

ア 実施期間 令和2（2020）年4月1日～令和5（2023）年3月31日（3年間）

※令和4（2022）年3月31日現在

参加おもてなし施設 905施設

電子版パスポート（アプリ版）利用者数	延べ	28,170人
うちスタンプ1つ以上捺印ユーザー	延べ	11,771人
ファーストステージクリア	延べ	2,333人
セカンドステージクリア	延べ	1,071人
サードステージクリア	延べ	631人

- (2) 観光キャラバン事業（「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会委託事業）

県外のマスコミ、旅行エージェント等に対し、本県への更なる誘客促進に向けた観光キャラバンを各地で実施した。

ア 観光シーズンに合わせた「観光展」を活用したキャラバン【ふるさと観光展IN仙台駅】

- ・ 観光キャラバン

- a 実施日 令和3（2021）年11月16日
- b 訪問先 びゅうトラベルサービス東北・北海道統括支社、東武トップツアーズ仙台支店、河北新報社、仙台リビング新聞社、大人の休日倶楽部趣味の会
- c 参加団体 栃木県（観光交流課）、日光市、（一社）那須塩原市観光局、宇都宮観光コンベンション協会、真岡市観光協会、当協会職員

- ・ ふるさと観光展IN仙台駅

- a 実施期間 令和3（2021）年11月17日～19日

- b 実施場所 JR仙台駅 2階コンコース
 - c 参加団体 栃木県(観光交流課)、日光市、壬生町、さくら市、当協会職員(とちぎおもてなしメイツ含む)
- イ 上野産直市開催に合わせた観光キャラバン
- ・ 実施期間 令和4(2022)年3月17日～19日
 - ・ 実施場所 JR上野駅グランドコンコース
 - ・ 参加団体 足利市、栃木市、栃木市観光協会、(一社)那須塩原市観光局、(一社)小山市観光協会、真岡市観光協会
- (3) 「とちぎ旅ネット」特集ページ作成事業(「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会委託事業)
- ホームページ「とちぎ旅ネット」内に特集ページを作成し、観光情報を充実させることで県内への観光誘客を図った。
- ・ 特集記事テーマ
グルメ、歴史、イルミネーション、パワースポット、アウトドア、温泉(那須エリア)、いちご狩り・いちごスイーツ、動物、花、温泉(鬼怒川)
- (4) 観光アプリ運営事業(「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会補助事業)
- App Store、Google Play Storeから配信している観光アプリケーション「とちぎTochi-tabi」の管理運営を行った。
- ・ ダウンロード件数 延べ 46,133件
- ### 3 観光物産展等開催事業
- (1) 県内外から県内各地への誘客促進を図るとともに、県産品の販路拡張を推進するため、県内外の百貨店を会場として、次の物産展等を開催した。
- ア 宇都宮市 福田屋百貨店宇都宮店
- ・ 令和3(2021)年6月2日～6日(とちぎ味めぐりとお取り寄せフェア)
- イ 宇都宮市 東武宇都宮百貨店宇都宮本店
- ・ 令和3(2021)年7月22日～27日(とちぎと全国うまいもの市)
- ウ 船橋市 東武百貨店船橋店(県委託事業)
- ・ 令和3(2021)年8月3日～9日(ミニ栃木・福島物産展)
- エ 札幌市 さっぽろ東急百貨店(県委託事業)
- ・ 令和3(2021)年9月16日～21日(全国職人の技展)
- オ 宇都宮市 福田屋百貨店インターパーク店
- ・ 令和3(2021)年10月19日～24日・26日～11月1日(関東美味コレクション)
- カ 宇都宮市 東武宇都宮百貨店宇都宮本店
- ・ 令和4(2022)年1月12日～18日(第23回につぼんの味と技)
- キ 宇都宮市 福田屋百貨店宇都宮店
- ・ 令和4(2022)年2月17日～21日(第10回 とちぎ・いばらき・ぐんまの物産と観光展)
- (2) 食品催事等の開催
- ア 川崎市 イトーヨーカドー武蔵小杉駅前店(県委託事業)
- ・ 令和3(2021)年9月7日～12日(栃木県フェア)
- イ 佐野市 イオン佐野新都市店
- ・ 令和4(2022)年1月12日～16日(栃木フェア)

ウ 越谷市 イオンレイクタウン

- ・ 令和4(2022)年1月12日～16日(栃木フェア)

エ その他

栃木県等から依頼された以下の催事・観光イベント等に参加した。

- ・ ザスパクサツ群馬 VS 栃木 S C 戦 出店 (令和3(2021)年5月29日:前橋市 正田醤油スタジアム群馬)
- ・ 本物の出会い 栃木 夏の観光物産フェア in 天神橋筋商店街 出店 (令和3(2021)年7月2日～3日:大阪市 天神橋二丁目商店街 いこいの広場)
- ・ めっちゃええやん 栃木 in 千林商店街 出店 (令和3(2021)年7月30日～31日:大阪市 千林商店街 千林ふれあい館)
- ・ はちのへローカルマーケット 栃木県フェア 出店 (令和3(2021)年8月2日～30日:八戸市 (一財)VISIT はちのへおみやげショップ内 全国地場産品コーナー)
- ・ 栃木県・期間限定 アンテナショップ「めっちゃええやん! 栃木」 出店 (令和3(2021)年9月10日～23日:大阪市 大阪駅前ダイヤモンド地下街)
- ・ とちぎ宇都宮フェスタ 出店 (令和3(2021)年10月9日:宇都宮市 カンセキスタジアムとちぎ)
- ・ 魅力いっぱい 関東甲信越静7県の観光物産展 出店 (令和3(2021)年12月17日～18日:豊中市 せんちゅうパル南広場)
- ・ 阪神百貨店 クリスマスフェア 出店 (令和3(2021)年12月23日～25日:大阪市 阪神百貨店 大阪本店)
- ・ いちご王国・栃木の日 記念フェア 出店 (令和4(2022)年1月14日～15日:大阪市 大阪駅前ダイヤモンド地下街)
- ・ 若者向け ワクチン接種促進 キャンペーン 市町ギフトセット 調達発送 (令和4(2022)年1月15日～31日)
- ・ 阪神百貨店 バレンタインフェア 出店 (令和4(2022)年1月29日～2月14日:大阪市 阪神百貨店 大阪本店)
- ・ とちぎのいちごや 出店 (令和4(2022)年2月4日～14日:大阪市 大阪駅前ダイヤモンド地下街)
- ・ 期間限定 アンテナショップ～栃木 SPECIAL 2days～ 出店 (令和4(2022)年2月9日～10日:大阪市 大阪駅前ダイヤモンド地下街)
- ・ ドラッグミック×栃木県フェア 出店 (令和4(2022)年2月10日～3月11日:大阪府・兵庫県 ドラッグミック 5店舗)
- ・ KB大東店 栃木県フェア 出店 (令和4(2022)年2月26日～3月4日:大東市 コジマ×ビッグカメラ大東店)
- ・ 丹波屋 栃木銘店 出店 (令和4(2022)年3月11日～4月1日:さいたま市 ルミネ大宮)
- ・ 旅サラダ EXPO 出店 (令和4(2022)年3月19日～21日:大阪市 グランフロント 大阪 うめきた広場)

4 伝統工芸品普及事業

(1) 常設展示場運営事業(県委託事業)

栃木県指定の伝統工芸品に対する理解と認識を深め、その普及宣伝を図るため、栃木県

庁舎15階の「県政展示コーナー」に常設展示し、年1回の展示替及び運営を行った。

(2) 栃木県伝統工芸品展開催事業（県委託事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止した。

- ・ 開催時期 令和3(2021)年8月
- ・ 開催場所 宇都宮市 ショッピングモールベルモール1F

5 栃木県観光物産振興員配置事業（県委託事業）

「とちぎおもてなしメイツ」を活用し、観光振興や県産品の普及宣伝を図った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により首都圏での活動が制限されたが、SNSの活用による本県情報の発信に注力した。

- ・ 採用人員 2名
- ・ 採用期間 令和3(2021)年4月～令和4(2022)年3月

III 観光及び物産関係団体との連絡協調事業

1 観光展参加事業

(1) ふるさと観光展IN仙台駅

(公社)日本観光振興協会関東支部が主催する「ふるさと観光展」に共同出展し、宮城県の方々に、秋・冬の観光情報を提供し、本県への観光客誘致を図った。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、ステージでのPR中止、手配りでのパンフレット等の配布が自粛となった。

- ・ 開催期間 令和3(2021)年11月17日～19日
- ・ 開催場所 JR仙台駅(仙台市)

(2) 誘客促進対策事業

本県への誘客促進に資する事業に、随時対応した。

2 観光関連団体等との連絡協調事業

(1) (公社)日本観光振興協会連携事業

ア 情報センター事業

(公社)日本観光振興協会の全国観光情報データベース情報の更新を行い、県内全市町の情報を、(公社)日本観光振興協会のホームページを通じてマスコミ、旅行エージェント及び一般に広く提供した。

イ 関東ブロック観光宣伝資料作成事業(関東甲信越静観光協会・連盟協議会)

全国観光広域振興事業の一環として、関東甲信越静の観光ポイントを掲載した観光ガイドブック中国語版(繁体字)に修正を加え、台北国際旅行博等で配布し、台湾からの誘客促進を図った。

- ・ 冊子名称 MID JAPAN(関東甲信越静広域観光情報誌)
- ・ 作成部数 2,000部

(2) 観光関連団体等との連絡協調

東日本旅客鉄道(株)、東武鉄道(株)、(公社)日本観光振興協会をはじめ、県内外の観光及び物産関係団体等と緊密に連絡、協調して本県観光の振興を図った。

IV 外国人旅行者に対する情報提供事業

1 外国人材活用インバウンド推進事業(県委託事業)

国が令和元(2019)年に創設した「外国人による地方創生支援制度」を活用し、昨年度に引き続き、旅行業に精通し即戦力となる外国人材を当協会に配置することにより、現地旅行会社等との連絡調整や、外国人目線から県内観光資源の発掘・PR等を実施するなど効果的な誘客活動を行った。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う渡航制限により、海外PR事業が実施困難になったため、PR動画配信事業を実施し、YouTubeにて配信した。

- ・ 採用人員 1名
- ・ 採用期間 令和3(2021)年4月～令和4(2022)年3月

2 第29回台北国際旅行博(ITF2021)

台湾からの観光客の誘致を図るため、関東ブロック広域観光振興事業推進協議会として出展し、本県観光をPRした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う渡航制限により、職員の派遣は行わず、ブース運営を現地スタッフに委託しパンフレット等を配布した。

- ・ 開催期間 令和3(2021)年11月5日～8日
- ・ 開催場所 台湾・台北南港展覽館1号館

V 観光・物産情報発信施設の運営事業

1 「おいでよ!とちぎ館」の管理運営

宇都宮市本町合同ビル1階に設置している当協会事務所兼直営店の「おいでよ!とちぎ館」において、観光及び県産品の振興機能の強化及び情報発信・提供を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ガイドラインに沿った感染防止対策の取り組みに努めた。

(1) おいでよ!とちぎ館の概要

- ・ 店舗面積 102.89㎡
- ・ 出展者 160業者
- ・ 営業時間 午前10時～午後6時(月～金)
午前10時～午後5時(土) ※日曜・祝日・年末年始を除く

(2) 利用状況

- ・ 入館者数 34,165名(116名/日)
- ・ 購入者数 6,892名(23名/日)

VI 県産品の販売事業

1 「とちびより」の管理運営

JR宇都宮駅2階、駅ビルパセオ「とちぎグランマルシェ」内に出店している当協会直営店舗の「とちびより」において、県産品の普及・宣伝と販路拡張を推進するため、展示販売を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大並びに緊急事態宣言発令に伴い、時短での営業対応を行うとともに、ガイドラインに沿った感染防止対策の取り組みに努めた。

(1) とちびよりの概要

- ・ 店舗面積 70.33㎡
- ・ 出展者 100業者

- ・ 営業時間 午前8時～午後9時（年中無休）

(2) 利用状況

- ・ 購入者数 110,012名（301名/日）

VII 日光湯元レストハウス運営事業

日光湯元レストハウスを賃貸し、日光湯元地区の観光誘客促進及び観光客受入れ体制の強化を図る。